

盆踊り、復活

若い力と経験者の力との融合

復興プロジェクト実行委員会は、昨年度から町の元気を発信し、コミュニティ再生を目的にイベントを実施してきました。

これまで、町内のイベントに合わせた「復興市」や冬の夜空に花火を描いた「ウインターフェスティバル」を企画し、町民のみなさんが集える場所、語れる場所を作るため活動してきました。

今回、実施しました「納涼盆踊り」は、震災前から、後継者不足により打ち切りが決まっていたが、人が集える機会をつくりたいとの思いから、実行委員である渡辺克幸さんを中心に若い方々が集まり、経験者の指導を仰ぎながら、練習に励みました。

当日行われたやぐら立は、元商工会青年部の方々が、手取り足取り教えていただきながら行われました。

当日は、約300人も来場者が輪を作り、大きな掛け声を上げながら踊りました。

渡辺さんは、「震災後初、そして花火の後ということもあり、不安でいっぱいでしたが、予想を上回る多くの若い方がきてくれて楽しい時間を過ごすことができました。改めて、若い力のパワーを感じました。」と盆踊りを終えた感想を語ってくれました。

若い力と経験者の力との融合。そして、人が集まることで生まれるエネルギー。

「人がいて、祭りがあり、そこにまた人が集う」この夏祭りで得たエネルギーを町の復興に向けての推進力にしていけるよう一歩一歩、歩みを進めていきます。